

2026年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年2月27日

上場会社名 東和フードサービス株式会社

コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸野 誠人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 長谷川 研二

TEL 03-5843-7666

上場取引所 東

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の業績(2025年5月1日～2026年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	9,990	4.2	736	6.9	833	2.8	497	2.7
2025年4月期第3四半期	9,584	3.7	791	10.9	810	8.5	484	6.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	61.62	
2025年4月期第3四半期	60.02	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	9,459	7,519	79.5
2025年4月期	9,169	7,171	78.2

(参考) 自己資本      2026年4月期第3四半期    7,519百万円      2025年4月期    7,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期		10.00		10.00	20.00
2026年4月期		10.00			
2026年4月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 4月期の業績予想(2025年 5月 1日～2026年 4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	0.1	860	19.1	900	18.1	550	23.7	68.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年4月期3Q	8,186,400 株	2025年4月期	8,186,400 株
2026年4月期3Q	114,801 株	2025年4月期	116,851 株
2026年4月期3Q	8,070,864 株	2025年4月期3Q	8,069,549 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、売上高99億90百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は7億36百万円（前年同期比6.9%減）、経常利益は8億33百万円（前年同期比2.8%増）、四半期純利益につきましては4億97百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

11月から12月にかけて2店舗の改装休業を行いました。10月に新規創店した「椿屋茶房大宮店」、「池袋ばすたかん」、前期末にオープンした「イタリアンダイニングドナ新宿紀伊國屋店」、2026年4月の30周年に備えリニューアルオープンした「椿屋珈琲銀座本館」などの既存店以外も順調に収益化が図れており、業績は堅調に推移しています。

#### ・高付加価値の追求

椿屋珈琲グループにおきましては、主力メニューであるサイフォン式コーヒーの魅力をさらに高めるべく、珈琲マイスターやQグレーダーといった専門資格の取得、抽出技術向上のための社内競技会の実施、ジャパンサイフォニストチャンピオンシップへの挑戦、珈琲豆の原産国での買い付けなど、当社のオリジナリティをお客様に体験していただけるよう日々取り組んでおります。

11月にはジャパンサイフォニストチャンピオンシップ2025で優勝した千田サイフォニスト考案の「千田ブレンド」を椿屋珈琲店舗および椿屋オンラインショップで販売いたしました。千田サイフォニストが競技会で使用した珈琲豆を焙煎からブレンドまで自ら行ったこだわりの逸品です。接客技術の向上とあわせて、今後も付加価値の提供に努めてまいります。

#### ・「新」椿屋スペシャルティブレンド

椿屋珈琲では、創業から変わらない「椿屋スペシャルティブレンド」が、この度椿屋珈琲30周年を迎えるにあたり、さらに美味しく新しく生まれ変わりました。これまでの椿屋スペシャルティブレンドを進化させ、2月27日より店舗でお楽しみいただけるほか、珈琲豆は椿屋珈琲物販店、椿屋珈琲オンラインショップ、催事販売にてご購入いただけます。

[【椿屋珈琲】「椿屋スペシャルティブレンド」がさらに美味しく生まれ変わります | 東和フードサービス株式会社のプレスリリース](#)

#### ・株主優待の利便性向上

椿屋珈琲グループアプリポイント会員はすでに22万人を突破しております。ポイント利用増加の背景を踏まえ、株主優待におきましてもアプリポイントへの交換を可能といたします。従来通りの「ご優待券」もしくは「アプリポイント」を選択可能とし、アプリポイントを選択した場合は店舗でのポイント利用はもちろんのこと、これまでご優待券の使用できなかった椿屋オンラインショップでの利用も可能となります。ポイント利用できる当社製品の幅が大幅に広がるほか、1円単位で無駄なく使用できます。詳細含めた内容に関しましては、別途ご案内いたします。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて1億37百万円増加し、54億9百万円となりました。これは、S C預け金が72百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億52百万円増加し、40億50百万円となりました。これは、建物が83百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて2億90百万円増加し、94億59百万円となりました。

#### （負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて46百万円減少し、12億35百万円となりました。これは、未払金が1億23百万円減少、未払賞与が1億6百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて10百万円減少し、7億4百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて57百万円減少し、19億40百万円となりました。

#### （純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて3億47百万円増加し、75億19百万円となりました。これは、四半期純利益の計上が4億97百万円あったことなどによります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月30日に公表いたしました2026年4月期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,358,423	4,385,913
売掛金	223,018	270,154
ＳＣ預け金	311,302	383,862
商品及び製品	53,128	46,225
原材料及び貯蔵品	145,827	152,950
前払費用	121,251	132,676
その他	59,214	38,184
貸倒引当金	△559	△594
流動資産合計	5,271,607	5,409,373
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	820,130	903,315
構築物（純額）	86	54
機械及び装置（純額）	63,824	53,402
工具、器具及び備品（純額）	242,069	298,877
土地	530,000	530,000
リース資産（純額）	11,928	13,791
建設仮勘定	—	10,362
有形固定資産合計	1,668,039	1,809,803
無形固定資産	45,483	37,482
投資その他の資産		
投資有価証券	62,272	75,090
出資金	330	330
従業員に対する長期貸付金	285	50
長期前払費用	17,030	14,111
繰延税金資産	304,010	299,434
差入保証金	404,508	404,508
敷金	1,395,950	1,409,603
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,184,386	2,203,129
固定資産合計	3,897,909	4,050,414
資産合計	9,169,516	9,459,788

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	284,087	273,259
リース債務	3,999	5,121
未払金	535,644	412,591
未払賞与	106,990	—
未払費用	78,237	125,237
未払法人税等	144,154	149,773
未払消費税等	105,793	152,045
契約負債	6,322	9,001
預り金	10,618	45,001
前受収益	3,105	3,087
賞与引当金	—	57,000
ポイント引当金	3,024	3,521
その他	135	65
流動負債合計	1,282,114	1,235,705
固定負債		
リース債務	9,249	10,177
退職給付引当金	392,781	381,448
資産除去債務	292,489	291,930
その他	20,984	20,984
固定負債合計	715,505	704,541
負債合計	1,997,619	1,940,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,306,350	1,308,877
利益剰余金	5,891,018	6,226,948
自己株式	△100,735	△98,968
株主資本合計	7,146,632	7,486,858
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,264	32,683
評価・換算差額等合計	25,264	32,683
純資産合計	7,171,897	7,519,541
負債純資産合計	9,169,516	9,459,788

## （2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年5月1日 至 2025年1月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年5月1日 至 2026年1月31日）
売上高	9,584,054	9,990,112
売上原価	2,596,459	2,747,798
売上総利益	6,987,595	7,242,314
販売費及び一般管理費	6,196,201	6,505,447
営業利益	791,393	736,866
営業外収益		
受取利息	1,009	29,497
受取配当金	1,678	1,638
受取家賃	25,092	25,368
協賛金収入	580	157
助成金等収入	2,153	6,661
為替差益	—	32,661
その他	4,246	2,411
営業外収益合計	34,760	98,396
営業外費用		
不動産賃貸原価	1,539	1,600
助成金返還損	14,114	—
その他	140	483
営業外費用合計	15,793	2,084
経常利益	810,360	833,178
特別損失		
固定資産除却損	4,850	2,920
減損損失	21,424	22,140
その他	3,680	—
特別損失合計	29,955	25,060
税引前四半期純利益	780,405	808,117
法人税等	296,069	310,775
四半期純利益	484,335	497,341

## （3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産等に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	244,194千円	238,725千円

（セグメント情報等の注記）

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期累計期間（自 2024年5月1日 至 2025年1月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2025年5月1日 至 2026年1月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

## 税金費用

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。